

本願寺

親鸞聖人750回大遠忌法要に参拝



50年目のご勝縁に感慨無量の別院門信徒

く別院だよりく

モダン寺新聞

第35号

発行所

浄土真宗本願寺派 本願寺神戸別院
 〒6500011
 神戸市中央区下山手通八丁目 番号
 TEL 0783415949

九月十一日(日)、本願寺神戸別院より「親鸞聖人七五〇回大遠忌法要」に団体参拝をいたしました。大遠忌法要は、今年の四月より、京都本願寺においてお勤まりになつており、この度は第四期目のご法要でございました。

当日は、神戸別院仏教婦人会、仏教壮年会及び門信徒の五十六名が参加されました。

午前七時四十分には神戸別院より貸し切りバス一台にて本願寺へ向け出発。日曜日であったため、比較的に交通事情もよくほぼ予定通り本願寺に到着し、参加者全員での記念写真を撮影いたしました。

その後、ご法要がお勤めされます御影堂へ向かいました。この御影堂は、平成二十二年に大修復が終えられ、創建当時の面影が伺えました。

また、大遠忌法要期間中は全国各地よりご参拝があり御影堂の周囲に「掛け出し」を設け参拝席(椅子席)が全席三千六百十九席用意されておりました。参加者は、「すごいなー」、「大きい」と驚かれておられました。

別院の席は、ちょうど真ん中の少し右に用意されておりました。場所によつては、御影堂の柱の陰になりましたがテレビモニターが設置されて

おり法要の様子をみる事ができました。

九時三十分より、記念布教が行われ、ちょうどこの日は、兵庫教区城崎組の應供乗生師が記念布教をされておりました。

そして、午前十時よりご門主さま御親修による「宗祖讚仰作法」がお勤まりになりました。この「宗祖讚仰作法」は、親鸞聖人七五〇回大遠忌法要に向けて制定され親鸞聖人のご和讃を中心に構成されております。

法要後は、国宝である書院・唐門・飛雲閣などを拝観いたしました。

昼食は、本願寺北境内地に特設された巨大な休憩施設にて「安穩弁当」をいただきました。当日は、まだ残暑が厳しい状態でしたが、この休憩施設ではエアコンが設置されており心地よく昼食・休憩を取ることができました。

午後は、本願寺門前町に設けられました「ご縁まち」にて自由時間を過ごしていただきました。

「ご縁まち」は、京都のお土産、各地の食材などを集めた物産コーナーや、お念珠などの仏具の販売があり参加者のみなさんはそれぞれお気に入りのお土産を手は無事に帰途につきました。

東日本大震災 現地調査報告 (第二号)



ようやく瓦礫が撤去され、本堂の復興が待たれる称法寺

八月二十四日から二泊三日の日程で、兵庫教区各教化団体、教区会等からの東日本大震災の被災地視察が行われました。視察行程としては、仙台市内視察、本願寺仙台別院・現地ボランティアセンター、称法寺(石巻市・前号にて報告寺院)、名取市の仮設住宅、専能寺(仙台市・前号にて報告寺院)を訪問いたしました。

名取市仮設住宅に訪問した際、兵庫教区仏教婦人会連盟によるメッセージを添えた手作りのアクリルたわし約三百個をお配りし、仮設住宅の皆様の茶話会に同席させていただき、現在の状況など、様々な話を聞かせていただいた。

参加者は、「仮設住宅の自治会長さんは、「仮設住宅の皆さんが明るい顔で接してくださるのが救いです。」と話されたが、ご自身も家族を四人亡くしておられ、表に出せない複雑な思いを感じました。

また、雇用が無いせいか、一人で入居され、一日部屋で過ごす若い男性が何人もおられたことが印象に残った。」とも述べ、今後の支援について「継続して被災地を訪ね、復興の過程を見守り、携わっていくことが大切であり、お金物だけではなく、直接顔と顔を合わせての支援が必要なのでは。」と現状と今後の課題について語られた。

お寺に泊まったよ

八月二日、三日と二泊三日の日程で、『モダン寺土曜子ども会サマースクール』が開かれました。今年には四歳から十二歳までの十三名が参加、夏の陽射しにも負けず、子ども達は元気いっぱい。

初日は、お勤め・別院の先生のお話でサマースクールが開校。オリエンテーションで翌日の朝のお勤め(正信偈)の練習をした後、『神戸クリスタルタワー』へ向けて出発。クリスタルタワーでは、木工工作や、軍手人形作り、かぎぐるま作りなど、色んなクラフト体験をし、沢山のお土産を手にした子ども達はご満悦。

クラフト体験の後は、別院に帰って夕食のカレーライス作り。子ども達みんなで協力して買い物、調理をしたカレーライスの味は格別でした。

夕食の後、夜にはお楽しみみの花火。別院西側境内地でスイカを食べながら、大人も一緒になって、色とりどりの花火を楽しみました。

初日の最後は、本堂の阿弥陀様の前で、夜のお勤めをした後、お風呂屋さんの大きなお風呂で二日の汗を流して眠りにつきました。



自作カレーは、やっぱりおいしい!!

二日目は、朝六時に起床、ラジオ体操の後、別院の朝のお勤めにお参り。正信偈のお勤め、ご法話のあと、別院婦人会の皆さん手作りの朝粥をいただきました。

お腹一杯になって元気になった後は『須磨海浜水族園』へ向けて出発。目玉は水族園の裏側を探検する『バックヤードツアー』。飼育員の方の説明、珍しい機械や魚に、ドキドキしながらの探検でした。

お昼ご飯を食べた後は、皆でイルカショーを見学、その後グループに分かれて水族園を巡りました。

別院に帰ってからの閉校式では、一人一人に修了証が授与され、最後に真宗宗歌を斉唱して、今年のサマースクールは閉校しました。

暁天講座 朝粥をいただきました

毎年、開催されております暁天講座が八月一日から三日までの三日間開催されました。全日とも、午前七時から本堂にて正信偈を全員でお勤めし、ご法話を聴聞させていただきました。

ご法話の後、別院仏教婦人会による手作りの朝粥の接待がございました。前日からの準備、当日の配膳など大忙しの様子でしたが、婦人会会員のみなさまは快くお接待をされておりました。

連日、多くのご参拝をいただき今年度の暁天講座を無事に終えました。



1階ホールにて、朝粥を頂く参拝者

秋季彼岸会 浄土往生とは



ご講師の尾上和正師

台風十五号が去り、肌寒くなった九月二十二日(木)から二十四日(土)までの三日間秋季彼岸会がお勤まりになりました。

午後二時三十分より滝口輪番導師のもと「讚仏偈作法」にて法要が勤められました。

そして、尾上和正師(大阪教区中島西組行徳寺)をお迎えしてご法話をいただきました。

ご法話の中で、「浄土真宗の者は、死んで終わりではない。命終わるときは浄土・彼岸の世界に生まれ仏となる」と話され、また、「往生浄土とは、浄土に行つて生まれる」ということであり、浄土真宗には死はないと語られました。

また、中日である二十二日には、参拝者におはぎが配られみなさん喜んでお帰りになりました。

宮殿戸帳も衣替え 十月一日より冬衣体に

今年の夏も猛暑でございましたが、お彼岸を境にようやく秋らしくなつてまいりました。

さて、十月一日から夏衣体(えたい)から冬の衣体に衣替えとなりました。

それに伴い、ご本尊の阿弥陀さまをご安置しております宮殿(くうでん)の戸帳も夏用の戸帳から冬用の戸帳に掛け替えをいたしました。別院の戸帳は、ルンビニのアシヨカ王によつて建てられた石柱に刻まれた碑文をデザイン化されたものです。



冬用に変えられた戸帳



アシヨカ王石柱
(ルンビニ)

図書コーナーが充実

この度、二階事務所前の図書コーナーが拡張されリニューアルオープンしました。これにより本願寺出版社と自照社出版社の書籍を取り扱うこととなり多くの仏教書籍が求めやすくなりました。

また、昨年、別院にてお勤めされました「兵庫教区・神戸別院親鸞聖人七五〇回大遠忌法要」にて記念講演をされました三國連太郎さんが原作・監督・脚本をつとめた映画『親鸞 白い道』のDVDも取り取り扱うことが決定いたしました。価格は、二千九百四十円。



新しく書籍棚を設置しました。

別院行事のご案内

○報恩講法要

十月二十七日(日)から

二十九日(火)の三日間

講師 藤井 邦麿 師

(大分教区速見組正善寺)

日程

詳細は下段をご参照ください

○第二土曜講座

十月五日(土)

講師 鹿多 証道 師

(加古川組妙正寺)

十二月二日(土)

講師 楠 淳澄 師

(出石組福成寺)

午後二時三十分より本堂にて

○除夜会

十二月三十一日(土)

午後五時より本堂にて

○元日会

平成二十四年一月一日(日)

午前七時より本堂にて

*勤行後、総会所にて輪番より新年のご挨拶がございます

報恩講法要のご案内

〜別院にて三日間修行〜

平成二十三年十二月二十七日(日)から二十九日(火)まで、本願寺神戸別院にて報恩講法要をお勤めいたします。

報恩講とは、私たちにお念仏のみ教えをお示しく下さいました宗祖親鸞聖人のご恩に報いる法要でございます。起源は、親鸞聖人の三十三回忌(二一九四年)に本願寺第三代の覚如上人が『報恩講私記』を著されたことからといわれております。

当日は、親鸞聖人のご生涯を描いた御絵伝(四幅)が左余間に掛けられ、ご生涯が説かれた『御伝鈔』が拝読されます。



左余間に掛けられた「御絵伝」

報恩講法要日程

第一日

十月二十七日(日)

建夜法要 午後二時三十分

初夜法要 午後五時三十分

第二日

十月二十八日(月)

晨朝法要 午前 七時

日中法要 午前 十時

大建夜法要 午後二時三十分

帰敬式 午後四時三十分

初夜法要 午後五時三十分

第三日

十月二十九日(火)

晨朝法要 午前 七時

満日中法要 午前 十時

また、別院にて帰敬式(おかみそり)を行います。帰敬式とは、親鸞聖人のお示しく下さったみ教えを心の拠り処として、今後の人生を力強く生き抜いていく決意をあらたにする儀式です。是非ともこの機会にお受けください。報恩講法要は、浄土真宗の僧侶・門信徒ともに最も重要な法要でございます。是非ともお参りください。是非ともお参りください。

帰敬式〈おかみそり〉受式のご案内

- 日時：2011(平成23)年11月28日(月)午後4時30分より
*集合は、午後3時30分となります。
- 場所：本願寺神戸別院本堂
- 申込：できるだけ事前にお申込みください。
：(*内願法名につきましては締切ました。)
- 申込方法：お名前・ご住所・電話番号・生年月日・年齢をお知らせください。
- 受式冥加：成人 10,000円、未成年 5,000円
- その他：*式章・お念珠は当日お配りいたします
*受式冥加は当日承ります
*式は椅子席での執行となります

編集後記

先日、別院の団体参拝で本願寺に行つてまいりました。十月のご法要で、第五期が終了しました。残すところ第六期(十一月)と御正當(二月の御正忌報恩講)となりました。まだ、ご縁に遇われていない方は、「次回の八〇〇回忌に！」とはいかないと思っております。是非ともお参りください。